製品名: PSB9 / LMP2 (10V5) ウサギモノクローナル抗体
カタログ番号: AMRe16583
研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギIgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4℃、長期保存は-20℃で保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	PSMB9
別名	Beta1i; LMP2; PSMB 9; PSMB6i; PSMB9; RING12;
遺伝子ID	5698.0
SwissProt ID	P28065
免疫原	ヒトプロテアソーム20S LMP2の合成ペプチド

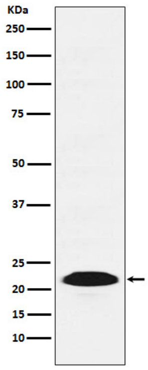
背景

プロテアソームは、中性または弱塩基性 pH において、脱離基に隣接する Arg、Phe、Tyr、Leu、および Glu を持つペプチドを切断する能力を特徴とする多触媒プロテアーゼ複合体です。プロテアソームは ATP 依存性タンパク質分解活性を有します。プロテアソームは、中性または弱塩基性 pH において、脱離基に隣接する Arg、Phe、Tyr、Leu、および Glu を持つペプチドを切断する能力を特徴とする多触媒プロテアーゼ複合体です。プロテアソームは ATP 依存性タンパク質分解活性を有します。このサブユニットは、クラス I 結合ペプチドを生成する抗原処理に関与しています。PSMB6 を PSMB9 に置換すると、免疫プロテアソームが疎水性残基および塩基性残基の後に続くモデルペプチドを切断する能力が向上します。

研究分野

細胞生物学

画像データ



A431 細胞溶解物中のプロテアソーム 20S LMP2 発現のウェスタン ブロット分析。